

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

3月の活動予定

3月3日(火) 第一例会

3月24日(火) WBN 総会

3月7・8日(土・日) 乗鞍岳・位が原
小屋泊
CL...3月20・21・22日(金・土・日)のいずれか1泊2日
金時山
CL...3月28日(土)or29日(日) 角田山
CL...

4月の活動予定

4月7日(火) 第一例会

4月21日(火) 第二例会

4月の山行予定

- ・創立記念登山 飯綱山
- ・唐松岳

お知らせ

3月24日(火)に総会が開かれます。

やむを得ない事情でご都合のつかない方は委任状の提出を3/20頃までをお願いします。

今年度の会費が未納の方はお振込ください。

2月の活動報告

2月1日(土) 赤岳 主稜線

参加者:

2月1日。日帰り、さんと八ヶ岳の赤岳主稜へ。個人的には去年計画したが、渋滞のため諦めたルート。念願だが、本格的な冬季バリエーションは2回目になるので、

山頂までたどり着けるか自信はあまりなかった。



前夜1時半、さん宅を出発し、3時半、赤岳山荘に駐車。雪はほとんどない。4時20分、赤岳山荘を出発し、6時半、行者小

屋着。明るくなり、前方の山並みが綺麗に見える。ハーネスなどを身につけ、7時、行者小屋出発。赤岳山荘ではほとんどなかった雪だが、行者小屋周辺やその先は、去年の同じ時期よりあるように感じた。最近降ったような柔らかい新雪が30センチほどあった。

7時40分、文三郎登山道より、斜面をトラバースし、取付き点へ。

ちょうど2人組のパーティが取り付いているところだったので、しばらく待機。

すると先行パーティが雪で支点が見つからず手こずっている様子。トランシーバーでやり取りしているトップの方へさんがアドバイスする。

8時20分頃、1ピッチ目、さんトップ。8mほどの垂直な凹角を直登。ここが主稜の核心だとのこと。2ピッチ目はがトップ。全部セカンドで行くと思っていたため、トップはかなり緊張した。この1、2ピッチは、ピッチを切らずにいくこともあるそうだが、ルートが逆S字のラインになってしまい、ロープの流れが悪くなるため、短く切って登った。

以降、さんからアドバイスを頂きながら、つるべで登っていく。





コンディションは、雪は思っていたより多い。残置の支点が隠れている箇所が多く、スリングをかけられる岩もあまりないため、支点を細かく取ることはできなかった。雪質もサラサラしていて、ピッケルの効きがイマイチなので、何度か振り

回してやっと進むような状況が続く。私自身、冬季バリエーションに不慣れ&下手っぴなため、一つ一つの登りに慎重で時間がかかってしまうが、さんが急かさず待ってくれたため、落ち着いて登ることができた。

中間から上部にかけては、ロープいっぱいまで使うことが度々あったが、お互いの声がほとんど届かないため意思疎通が取れず、さらに時間がかかってしまったと思う。あらかじめ、笛などで合図を決めておくか、トランシーバーを使うなど、考えておけばよかったと反省した。

全部で10ピッチ。傾斜の緩い雪面を登り、北峰の一般ルートに出た。

14時半、赤岳山頂に無事登頂。取付き点から6時間半もかかってしまったが、最後までつるべで登らせて頂いたこともあり、達成感はとても大きかった。

山頂で短い休憩を取り15時下山開始。文三郎を下り、15時40分行者小屋着。赤岳山荘には17時半に戻った。



弾丸の日帰り赤岳主稜は、難易度や時間的に、私にはとてもハードだったが、ラインをどう取るか、足をどこに置かなど、一つ一つの登りに考えをめぐらしながら進んだ今回の山行は、これまでにない充実感を味わうことができた。一方、ロープさばきやビレイ器具の扱いなど、基本的な操

作で迷うことも多々あり、反省点もたくさんあるので、次はよりスムーズに登れるよう改善したいと思う。

2月9日(日) 高社山

参加者:

天気:雪

朝起きると長野市内にも雪が積もっていた。これから向かう中野・飯山地域には大雪警報が出ている。とりあえず登山口の谷巖寺まで行ってみて、そこでどうするか決めようということになった。雪の降りもだんだん強くなってきたが、谷巖寺に着く頃には雪も小降りになった。ところが除雪車が通った後の雪が邪魔をして駐車場に入ることができない。お寺に上る入口の隅に車を置かせていただく。



タイムリミットを1時半とし、ワカンを着けていざ出発！積もった雪は膝下くらいか。もちろんノートレース。「ふわふわの雪は気持ちがいいから先頭を歩いてみる？100歩でいいよ。」と言われ、先頭を歩かせてもらおう。ホントだ。ふわふわで気持ちがいい！

先頭を交代しながら最初の2時間くらいは順調に進んだ。だんだん雪が深くなり、膝上に、そして腿のあたりまでになると、「深〜い！」「進めませ〜ん！！」と、足もあがらなくなってくる。タイムリミットの1時半になったが、山頂



どころかまだ胴結場にも着いていない。ヤママップで確認すると胴結場まであとわずかのはず。20m～30mというところか。

胴結場に14時に到着。ここまで3時間の予定が6時間半もかかった。今日はここまでとする。

帰りはトレースがついているので早い、早い！それでも下って行くにつれワカンが思いのほか沈み込むので、雪もそれなりに積もったようだ。ワカンが木の枝や岩に引っかかって転んでしまうと、さあ、大変。雪がふかふか過ぎて自分で起き上がることもできない。下りは1時間20分で下山。あっという間だった。またリベンジしたいね、今度は山頂まで行きたいね、と話しながら長野へ帰った。

長野 6:00 — 谷巖寺P 7:00/7:25 — 胴結場 14:00/14:15
— 谷巖寺P 15:35/15:45 — 長野 16:30